



# 夢叶うまで挑戦

## 第39回南輝祭大成功！輝(きらり)満載！！

去る9月27日(金)28日(土)の2日間の日程で開催された「第39回南輝祭」。多くの保護者、ご家族の方においていただき誠にありがとうございました。

生徒会および3年生が中心となって、「輝(きらり)～一人一人の自分色」のテーマのもと、本当に南中生の輝(きらり)がそこかしこで見られた、大変素晴らしい南輝祭でした。1・2年生のみなさんも、いたるところで3年生を支え・協力してくれていて、全校でかわりもち、協働して創り上げられていました。本当にありがとうございました。

また、この南輝祭に向け、保護者の皆様や地域の方々にも大変お助けいただきました。併せて感謝申し上げます。

今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 【南輝祭プレイバック】



## 本日、前後期終始業式実施。来週から後期スタート！

本日第4校時、前後期終始業式が行われました。104日間あった前期も本日で終了し、いよいよ来週10月7日(月)から後期がスタートします。前後期終始業式では、各学年の代表生徒から、以下のような前期の振り返りと後期へ向けて頑張りたいこと等が発表されました。(※内容抜粋、パワーポイントでのプレゼンに挑戦してくれました)

### 【1学年発表者…1年3組 赤羽美海さん】

中学生になって大きく成長したところや、新しく感じたこと(2つ)

#### ①部活動を通して成長したこと

女子バスケットボールに所属。未経験で最初は知らないことばかり。先輩や同じ1年生にも声をかけることが難しかった。でも勇気を出して他の1年生に声をかけてみると、優しく名前を教えてくれ、次々と友だちが増えた。また先輩方も優しく声をかけてくれた。「勇気」という面に大きく成長を感じた。

#### ②協力の大切さ

1年最初の頃の「ふれあい体験学習」。広い山の中に何個もクイズがあり、そのクイズに正解するより、クイズそのものを見つけることの方が難しかった。それでも同じ班のみんなで協力してクイズを見つけたり、答えを一緒に考えたりできた。途中、ブランコや綱渡りがあり、私の班はモードを切り替えて「思う存分遊んじゃおう」とたくさん遊んでしまった。クイズの得点は最下位だったが、みんなで協力し、また何より仲を深められた。中学校に入学し、クラスのみならず過ごした前期は思い出に残り、また私を成長させてくれた。

### 【2学年発表者…2年1組 田中唯衣菜さん】「頑張ったこと 意識したこと」

前期に頑張ったと思えることについてと、後期に意識したいと思っていることを発表します。



前期特に頑張ったと思ったことはクラス合唱の伴奏です。夏休み前ぐらいに伴奏をやるのが決まってから、夏休み中なんとなく練習し、一通りは弾けるようになりました。南輝祭まで半月ほどのころ、二学年の中間発表がありました。内容はひどいもので全くと言っていいほど弾けませんでした。私自身は、伴奏はあくまで歌を引き立てる役だと思っていましたが、このままでは弾きたてることはできないなと思い、そこからは南輝祭まで毎月ひたすら練習をしました。そして、南輝祭当日、本番の自分の伴奏はクラスの歌声を引き立てられるように弾けたと思います。この南輝祭での伴奏は、私の中では、すごい頑張ったことで、とてもいい合唱になりました。

次に後期に意識していきたいことは、周りのことをよく見るということです。今年の生徒会企画で「きらり」を見つけようという企画がありました。自分自身やってみると、クラスの人や周りの人のいいところを言葉にできず、もどかしい気持ちになりました。これから生徒会の引継ぎの時季になります。

きらり探し  
「見つけられない、  
言葉にできない」と気づいた  
日ごろから周りを見て  
良いことにも悪いことにも気づきたい

引き継いだ後、企画を考えるときや、なにかしようと試みるときに、まず最初は、周りをよく見て、現状を知らないといけないと思います。そういうときに困らないよう、後期から日常的に周りを見て、良いことも悪いことも気づけるように意識して過ごしていきたいです。

### 【3学年発表者…3年5組 平林珀くん】「前期の反省と後期の抱負」

前期を振り返って、印象に残っていること(3つ)。

#### ①社会体育活動

野球の外部のクラブチームに所属していました。夏の最後の大会。最終回1点差、2アウト満塁で自分に打順が回ってきた。打てば逆転のチャンス。絶対打ってやるという気持ちで打席に立ちましたが、フライを捕られ試合が終わってしまった。みんなの期待に応えられず申し訳ない気持ちと、もう一つ先に行けなかった悔しさでいっぱいだった。結果は負けてしまったが、3年間共に汗を流した仲間とひとつの目標に向かって協力することの大切さを学んだ。

#### ②修学旅行

実際に奈良や京都を訪れたことで昔ながらの人々の暮らしや景観を守り続けることの大切さを感じた。班長として、3日間仲間と共に行動する中でコミュニケーションの大切さを感じた。

#### ③南輝祭

印象に残っていることは、全員リレー。正直、緊張していた。でも、友だちの応援が背中を押してくれて、全力で走ることができた。バトンをつなぐ瞬間、クラスの力がひとつになっていると感じた。結果、1位を取ることができた。体育祭を通じて、クラスメイトと絆を深めることができたし、最後の体育祭でいい結果を残すことができて嬉しい。

音楽会では、金賞を目標として一生懸命練習してきた。最初は全体的にあまり声がかたなかった。でも練習を重ねるごとに各パートがすごい声が出るようになって、最終的には体育館に響くほどの合唱になった。本番では、これまで一番の合唱にすることができた。惜しくも金賞は取ることはできなかったが、こんなに本気で取り組んだ合唱は初めてで、金賞を取れなかったときはすごく悔しかったが、こんなにすごい合唱をつくりあげることができてとても嬉しかった。後期頑張りたいことは、2つ。

### ①受験

中学3年の後期は、受験に直結する重要な時期。苦手だった数学や理科の勉強に力を入れ、時間を有効に使うために計画的に勉強することを心がけ、目標の高校に合格するため全力を尽くしたい。

### ②友だちや家族との時間を大切にすること

受験勉強が忙しくなる中で、まわりの支えを忘れがちですが、支えてくれている友だちや家族に感謝の気持ちを忘れないようにしたい。

最後に、後期を充実したものにするために、「挑戦する」という気持ちをもちたい。時には上手いいかないこともあるかもしれないが、前向きに進んでいきたい。中学校生活最後の期間でもあるので、今の仲間と悔いのないように生活したい。

<p>がんばったこと 印象に残ったこと① 野球</p> 	<p>がんばったこと 印象に残ったこと② 修学旅行</p> 	<p>がんばったこと 印象に残ったこと③ 南輝祭</p> 	<p>がんばったこと 印象に残ったこと③ 南輝祭</p> 
<p>がんばったこと 印象に残ったこと① 野球 1つの目標に向かい仲間と共に努力する大切さを学んだ 高校でも甲子園出場を目指して仲間と共に努力を続けていきたい</p>	<p>がんばったこと 印象に残ったこと② 修学旅行 昔ながらの風景や景観が守られていることに感動 班長としてコミュニケーションの大切さを学んだ</p>	<p>がんばったこと 印象に残ったこと③ 南輝祭 仲間の応援が力になったリレー リレーも合唱も最後の南輝祭に向けて仲間の取り組みの姿に昨年度とは比べものにならないくらい本気を感じられた みんなで本気になって合唱を創り上げられたことが何よりも思い出となった</p>	
<p>これから頑張りたいこと 大切にしたいこと① 受験 自分の希望を叶えるために苦しい教科の学習にも本気になって取り組んでいきたい</p>	<p>これから頑張りたいこと 大切にしたいこと② 家族や仲間と過ごす日々 苦しいときに支えてくれる存在への感謝を忘れないようにしたい</p>	<p>挑戦する気持ちを忘れない 残りわずかな南中の日々を大切に過ごしていきたい。</p>	

## 学校長のお話から（前期の振り返りと後期に向けて）

（前略）

さて、諏訪南中学校の愛言葉は「夢叶うまで挑戦」です。みんな答えられますね。

前期始業式で皆さんに「夢を叶える3つのC」の話をしました。そして、前期の自分を振り返り、チャレンジ挑戦したこと、そしてその結果チェンジ成長できたことを全員にタブレットでフォームに入力をしてもらいました。学年ごとにテキストマイニングにまとめたものを共有したいと思います。

まず1年生です。やはり中学に入学して部活動や勉強にチャレンジした人が多かったようです。その結果、中学校生活に慣れたり、たくさんを知ることができたり、友だちと話せるようになっていたりして、楽しい学校生活が送れるように成長できたという人が多くいます。

2年生。先週おこなわれた南輝祭や職場体験、トレッキングなど行事の場面で挑戦した生徒が多かったようです。その結果、人前で話す力がついた、苦手なことにも挑戦できる自分に成長できたという人が多くいます。

3年生です。流石3年生は、勉強に挑戦した、積極的に授業に臨んだり、苦手な教科にも取り組んだりした生徒が多くいたようです。その結果、問題が解けるようになったり、集中力や積極性が高まったりと感じている人が多いようです。隙間時間というワードもあり、隙間時間を使って学習に取り組んでいる人もいます。

何ごとにも前向きにチャレンジ挑戦すること、そしてその結果、自分がチェンジ変化、成長できること、これからも大切にしてほしいと思います。

さて今日は、後期のスタートにも当たりますので、後期に全校のみなさんで大切にしてもらいたいことをお話します。

今年の夏もパリオリンピックが開催され、日本人の活躍もすごかったですが、この選手は、2022年の冬季北京オリンピック、スノーボード女子ビッグエアの競技に出場した岩淵麗楽選手です。

(中略)

2022年2月15日に行われた女子ビッグエア決勝

岩淵選手は2回目の試技を終えて暫定4位。逆転優勝をねらった最後の3回目の技は、これまで女子選手では誰も成功したことのない超大技「トリプルコーク(縦3回転)」にチャレンジ。しっかりと回転し両足で着地したものの弾みで尻もちをつき、最終順位4位となり逆転での表彰台はかなわなかった。しかし、その直後、世界的に話題になる感動的なシーンが生まれました。斜面を降りて来た岩淵選手に、先に競技を終えた選手が次々と駆け寄って、アメリカ、カナダの7人の選手が抱き合った。これは、男子選手なみの大技(危険な技)に女子選手として果敢にチャレンジした岩淵選手を称賛。非常に感動的なシーンとして、そして本来のスポーツあるべき姿として取り上げられました。

一見、メダルの獲得を目指して競争しているけれども、深いところではその競技全体の向上のために協働している。先週末に開催され南輝祭でもステージ発表に始まり、運動会、音楽会と学級、学年、全校で南輝祭成功に向けて協働する姿があちこちに見られました。

また、後期も2年生は生徒会の引き継ぎ選挙、3年生は進路選択等、競うけれど共に創り上げる意識が大切なことがいくつもあります。

そこで、後期キーワード1つ目は「協働」です。学級で、学年で、そして全校で大切にしてほしいと思います。ある意味、南輝祭でも証明してくれた南中の強みだと思います。更に協働する姿を学校生活のあちこちで見せてほしいと思います。

2つ目は、反町康治氏のことばを受検に向かう3年生、そして目標に向かう1、2年生に贈ります。それは「結果を得るために必要な準備」です。

反町氏は、知っている人もいるかもしれませんが、もと松本山雅の監督をしていた人です。2012年~2019年までの8年間、山雅を率いて2013年にはJ1にも昇格をさせました。その反町氏が当時、信毎に「リスペクト」というタイトルで月一回、コラムの連載をしていました。私自身もいろいろな方の言葉を、生きる上で、そして、仕事に向かう上で自分の糧、よりどころにしていますが、この言葉はまさにそのうちの一つでもあります。

反町氏はこのように続けています。何事にも準備というのは非常に重要だ。サッカーのゲームは90分で終わるかもしれないが、そのための準備にどれくらい時間をかけたかが勝負にかかわってくる。最終的には結果に関係なく、その準備をすることに価値がある。その準備に人間としての成長がある。挑戦する、チャレンジするとは、この準備の積み重ねだと思えます。

是非、皆さんも、受検に向けて、テストに向けて、次のステージに向けて、最善の準備をすることを大切にしてほしいと思います。2つ目のキーワードは「最善の準備」です。

最後、3つ目のキーワードはズバリ「別れ」です。

あまりピンとこないかもしれませんが、あと半年後にはそれぞれの学年の別れがあります。仲間との別れもあります。

1年生は学級が変わります。3年生は卒業です。仲間とどうやって別れていくのか。先生との別れもあります。一年間過ごした教室とも別れます。中学校とどうやって別れていくのか。「別れ」を意識すると一日一日の「時間」を、仲間、先生など「人」を、教室や机など「物」を大切にすることにつながります。次のステージに進むために「ウェルビーイングな別れ」を意識する後期にしてほしいと思います。

後期のキーワード「協働」・「最善の準備」・「別れ」です。意識をして生活してみてください。

全ての生徒にとって、ウェルビーイングな南中をつくっていきましょう!!

### 前期始業式

夢を叶えるための **3つのC**

チャンス (Chance) 好機  
 チャレンジ (Challenge) 挑戦  
 チェンジ (Change) 成長

### 前期振り返りより 1年生

挑戦したこと Challenge 成長したところ Change

### 前期振り返りより 2年生

挑戦したこと Challenge 成長したところ Change

### 前期振り返りより 3年生

挑戦したこと Challenge 成長したところ Change

### 2022年 冬季北京オリンピック

スノーボード 女子ビッグエア

岩淵麗楽 (いわぶら れいる) 選手

### 世界的に話題になった感動的なシーン

次々と選手が駆け寄り、岩淵選手を称賛

金メダルを獲得したアナ・ガサー選手 (オーストリア) のコメント

「たとえ、私の順位が下がってもいいから、彼女に着地してほしかった。」  
 「スタート前から見ていましたが、感動しました。みんなの背中を押してくれて、進化 (女子ビッグエア) を引っ張ってくれたのです。尊敬しています。」

岩淵選手のコメント

「すごくびっくりしました。正直、スタートに立った時点では私だけの挑戦かなと思っていたけど、実際に終わったら、あんなにみんなが褒めてくれたり、声をかけてくれたりして、すごく嬉しいと感じると同時に、よい環境にいらさせてくれていると思いました。」

岩淵選手の挑戦 = 女子スノーボーダーみんなにとっての挑戦

競争 ⇒ 協働

ビッグエア競技力の向上 (目的) のために、全員が力を合わせる

学級、学年、全校で取り組む行事が多い後期

南輝祭 (ステージ発表・運動会・音楽会)  
 生徒会引き継ぎ選挙  
 進路選択 (入試は団体戦)

「競う」だけど・・・ 共に創り上げる意識

### 後期 キーワード ①

南中生の強み

**「協働」**

同じ目的のために、力をあわせて働くこと

反町康治氏「結果を得るために必要な準備」

何事にも「準備」というのは非常に重要だ。サッカーのゲームは90分が終わるかもしれないが、そのための準備にどれくらいの時間をかけたかが勝負にかかわってくる・・・

目標に向けて最善の準備をしているか

後期キーワード②

**最善の準備**

### 後期のキーワード③

**「別れ」**

教室との別れ 仲間との別れ 先生との別れ 学校との別れ

次のステージに進むために  
 ウェルビーイングな別れ

### 後期のキーワード

① 協働  
 ② 最善の準備  
 ③ 別れ

目指す学校づくり

『全ての生徒にとって  
 ウェルビーイングな南中』

皆さんが成長する姿を楽しみにしています!

終わり

セクハラや生徒に関わる相談窓口は、  
 保健室 (南校舎管理棟1階職員室横西側)  
 校長室 (南校舎管理棟1階職員室横東側)  
 です。何か不安や悩みがあったら相談を。

諏訪市立諏訪南中学校 文責:市川 寿 (教頭)  
 電話:0266(53)5566 FAX:0266(53)5563  
 電子メール suwaminami.jhs@suwa-ngn.ed.jp  
 HP <http://www.city.suwa.lg.jp/site/school/list78.html>

